



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月1日

上場取引所 東 大

上場会社名 エーザイ株式会社

コード番号 4523 URL <http://www.eisai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長

(氏名) 内藤 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役専務 PR担当

(氏名) 土屋 裕

TEL 03-3817-5120

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	146,908	△12.2	19,145	△13.8	17,939	△15.2	11,872	△12.1
24年3月期第1四半期	167,292	△18.2	22,215	△32.2	21,158	△29.9	13,505	△28.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △1,120百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 4,739百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第1四半期	41.66	41.65
24年3月期第1四半期	47.39	47.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第1四半期	977,173	399,505	40.2	1,378.81
24年3月期	1,004,660	423,427	41.5	1,462.53

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 392,932百万円 24年3月期 416,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	70.00	—	80.00	150.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	70.00	—	80.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	297,000	△10.3	35,000	△30.6	32,500	△31.4	23,500	△29.5	82.46
通期	610,000	△5.9	87,000	△9.1	82,000	△8.9	59,000	0.8	207.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	296,566,949 株	24年3月期	296,566,949 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	11,587,318 株	24年3月期	11,585,988 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	284,980,325 株	24年3月期1Q	284,960,537 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本発表において提供される資料ならびに情報は、本資料発表日時点における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。予想数値、予想の前提条件その他に関する事項については、7ページをご参照ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信に添付しております。また、平成24年8月1日(水)に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。説明会で配布した資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	(ページ)
1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
2) 研究開発などの状況	4
3) 連結財政状態に関する定性的情報	6
4) 連結業績予想に関する定性的情報	7
5) コーポレート・ガバナンスに関連する事項	8
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	10
2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	10
3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	10
3. 四半期連結財務諸表	
1) 四半期連結貸借対照表	11
2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	13
3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
4) 継続企業の前提に関する注記	16
5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	16
6) セグメント情報	16
7) 重要な後発事象	18

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

1) 連結経営成績に関する定性的情報(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

[売上高、利益の状況]

- 当四半期の連結業績は、次のとおりとなりました。

売上高	1,469億8百万円	(前年同期比 12.2%減)
営業利益	191億45百万円	(同 13.8%減)
経常利益	179億39百万円	(同 15.2%減)
四半期純利益	118億72百万円	(同 12.1%減)

- 売上高については、新規抗がん剤「ハラヴェン」、ヒト型抗ヒト TNF α モノクローナル抗体「ヒュミラ」等の新製品群が着実に売上を伸ばす一方、アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」とプロトンポンプ阻害剤「パリエット」(米国名「アシフェックス」)が日本における薬価改定、市場の競合環境の激化等の影響を受け減収となった結果、連結売上高1,469億8百万円(前年同期比12.2%減)となりました。「アリセプト」の売上高は272億58百万円(同35.1%減)、「パリエット」は285億26百万円(同14.1%減)と減収になったものの、がん関連領域製品の売上高は、「ハラヴェン」の貢献により251億96百万円(同5.0%増)となり、連結売上高構成比は前年同期14.3%から17.2%に拡大しました。また、てんかん領域製品の売上高は、37億5百万円(同13.4%増)と二桁成長を果たしました。
- 利益については、売上高減少に伴う粗利の減少により、営業利益、経常利益および四半期純利益は減益となりましたが、日本・欧州のアリセプト提携費用の減少に加えて、これまで実施してきた構造改革による人件費の圧縮、全社での費用効率化などにより、営業利益率は13.0%、四半期純利益率は8.1%と、前年同期と同水準を維持しました。
- これにより、1株当たり四半期純利益は41円66銭(前年同期より5円73銭減)となりました。
- 四半期純利益に少数株主損益およびその他の包括利益を加減した四半期包括利益は、為替換算調整勘定の影響により11億20百万円のマイナスとなりました。

[キャッシュ・インカム]

- 当社グループは、キャッシュ創出力を表す経営指標として、キャッシュ・インカムを使用しております。
- キャッシュ・インカムは、成長投資、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。
- 四半期純利益は118億72百万円、有形・無形固定資産の減価償却費は102億7百万円、のれん償却額は18億90百万円、減損損失(投資有価証券評価損)は2億82百万円となりました。
- その結果、四半期のキャッシュ・インカムは242億53百万円(前年同期比6.3%減)となり、1株当たりキャッシュ・インカムは85円11銭(前年同期より5円73銭減)となりました。

*キャッシュ・インカムの算式

当期純損益+有形・無形固定資産減価償却費+インプロセス研究開発費+のれん償却額+減損損失(投資有価証券評価損含む)

*1株当たりキャッシュ・インカムの算式

キャッシュ・インカム÷期中平均株式数(自己株式控除後)

[セグメントの状況]

(各セグメントの売上高は外部顧客に対するものです)

当社グループのセグメントは、医薬品事業とその他事業から構成されており、医薬品事業の各リージョンを報告セグメントとしております。平成 25 年 3 月期より、イースト・アジア(日本、中国、韓国、台湾、香港)、アメリカス(北米、中南米)、EMEA(欧州、中東、アフリカ)、インド・パシフィック(Indo-Pacific: 南アジア、アセアン、オセアニア)の 4 つのリージョンを新しい報告セグメントとして構成いたしました。これに伴い、本資料のセグメント情報に関する平成 24 年 3 月期の数値を新しい報告セグメントに基づいて記載しております。

<イースト・アジア医薬品事業>

- 売上高は 934 億 27 百万円(前年同期比 5.5%減、為替の影響を除いた前年同期比は 5.3%減)、セグメント利益は 381 億 30 百万円(同 9.5%減)となりました。そのうち、日本医薬品事業の売上高は 854 億 42 百万円(同 6.9%減)、セグメント利益は 366 億 88 百万円(同 9.0%減)となったものの、中国の売上高は、前年同期比 24.0%増(現地通貨ベースでは 22.5%増)と順調に伸長いたしました。また、イースト・アジア医薬品事業の連結売上高構成比は前年同期を 4.5 ポイント上回る 63.6%(前年同期は 59.1%)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は 233 億 12 百万円(前年同期比 22.2%減)、「パリエット」の売上高は 137 億 84 百万円(同 11.1%減)となりました。そのうち、日本医療用医薬品事業においては、薬価改定の影響と競合の激化により「アリセプト」の売上高が 217 億 26 百万円(同 23.9%減)、「パリエット」の売上高が 130 億 76 百万円(同 11.5%減)となりました。また、イースト・アジア医薬品事業の「ヒュミラ」の売上高は 68 億 6 百万円(同 24.7%増)、「ハラヴェン」の売上高は 13 億 31 百万円となりました。なお、日本においてファイザー社と共同販促を展開している疼痛治療剤(末梢性神経障害性疼痛・線維筋痛症)「リリカ」の共同販促収入は 31 億 0 百万円(同 46.7%増)となりました。平成 24 年 4 月に日本において不眠症治療薬「ルネスタ」を新発売いたしました。

<アメリカス医薬品事業>

- 売上高は 386 億 4 百万円(前年同期比 13.8%減、為替の影響を除いた前年同期比は 12.1%減)、セグメント利益は 81 億 24 百万円(同 20.7%減)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は 23 億 79 百万円(同 49.3%減)、「アシフェックス」の売上高は 131 億 65 百万円(同 16.8%減)、「ハラヴェン」の売上高は 31 億 9 百万円(同 24.5%増)となりました。

<EMEA 医薬品事業>

- 売上高は 69 億 8 百万円(前年同期比 44.3%減、為替の影響を除いた前年同期比は 37.3%減)、セグメント利益は 4 億 28 百万円(同 59.6%減)となりました。
- 「アリセプト」は物質特許満了の影響を受け、売上高は 11 億 53 百万円(前年同期比 83.1%減)となり、また「パリエット」の売上高は 11 億 73 百万円(同 19.0%減)となりました。「ハラヴェン」の売上高は 10 億 45 百万円(同 958.2%増)となりました。

<インド・パシフィック(Indo-Pacific)医薬品事業>

- 売上高は 16 億 43 百万円(前年同期比 4.3%減、為替の影響を除いた前年同期比は 2.2%増)、セグメント利益は 3 億 55 百万円(同 7.9%減)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は 4 億 12 百万円(前年同期比 18.0%減)、「パリエット」の売上高は 4 億 2 百万円(同 4.9%減)、「ハラヴェン」の売上高は 25 百万円(同 620.5%増)となりました。

2) 研究開発などの状況

[開発品の状況]

- 抗がん剤「ハラヴェン」(一般名:エリブリンメシル酸塩)は、乳がんに係る効能・効果で、米国、シンガポール、欧州(EU)、日本、スイス、カナダなどで順次承認を取得し、平成24年6月現在で承認取得国は37カ国となりました。肉腫を対象として、米国、欧州、アジアにおいてフェーズⅢ試験が、日本でフェーズⅡ試験が進行中です。また、非小細胞肺癌を対象としたフェーズⅢ試験が米国、欧州、日本、アジアにおいて進行中です。乳がん化学療法のセカンドラインをめざした欧米でのフェーズⅢ試験については、詳細な追加解析を行っております。
- AMPA 受容体拮抗剤「Fycompa」(一般名:ペランパネル)は、平成24年7月、欧州委員会より12歳以上の部分てんかん併用療法の適応で、新薬承認を取得いたしました。また、米国、スイス、カナダにおいても同適応症で承認申請中であり、日本、アジアではフェーズⅢ試験が進行中です。また、全般てんかんの併用療法については、欧州、米国、日本、アジアでフェーズⅢ試験が進行中です。
- 平成24年4月、ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体「ヒュミラ」(一般名:アダリムマブ)について、「尋常性乾癬及び関節症性乾癬」適応の承認条件となっていた使用成績調査(全例調査)に関し、厚生労働省から解除通達を受領いたしました。
- 平成24年5月、医薬品製造・販売子会社であるサンノーバ株式会社は、ビタミンK₂シロップ剤「ケイツーシロップ 0.2%」(一般名:メナテトレノン)について、新生児・乳児ビタミンK欠乏性出血症に対する予防の効能・効果および用法・用量の追加承認を取得いたしました。
- 平成24年6月、欧州において、抗てんかん剤「ゾネグラン」(一般名:ゾニサミド)について、新規に診断されたてんかん患者様の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する単剤療法の追加適応の承認をEMAより取得いたしました。また、平成24年6月、ロシアにおいて、「ゾネグラン」の成人部分てんかん発作の併用療法に関する販売承認を取得いたしました。
- 平成24年6月、抗リウマチ薬「ケアラム錠」(一般名:イグラチモド、開発品コード:T-614)について、関節リウマチの効能効果で製造販売承認を取得いたしました。
- 平成24年6月、日本において、プロトンポンプ阻害剤「パリエット」(一般名:ラベプラゾールナトリウム)を含む、2種類のヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせ製剤(パック製剤)、「パリエット」とアモキシシリン水和物に加え、クラリスロマイシンを含む一次除菌用パック製剤、およびメロニダゾールを含む二次除菌用パック製剤)を申請いたしました。
- 平成24年6月、欧州で、抗てんかん剤「ゾネグラン」について、6歳以上の小児の部分てんかんにおける併用療法の適応追加の承認申請が受理されました。
- 抗がん剤「MORAb-004」(モノクローナル抗体)について、肉腫を対象としたフェーズⅡ試験が欧米で開始されました。
- 抗がん剤「E7016」(ポリADPリボースポリメラーゼ阻害剤)について、メラノーマを対象としたフェーズⅡ試験が米国で開始されました。
- 血管塞栓用ビーズ「ディーシービーズ」(開発品コード:E7040)について、多血性腫瘍を対象としたフェーズⅢ試験が日本で開始されました。

[主な提携などの状況]

- 平成 24 年 4 月、Teikoku Pharma USA, Inc. (米国)との「アリセプト」経皮吸収製剤に関する日本を除く全世界を対象としたライセンス契約について一部見直しを行い、今後の開発方針に関する意思決定は同社が独自の判断で行い、当社は海外における独占的販売に関する権利についてのオプション権を保有するという契約内容に変更いたしました。今回の変更は、Teikoku Pharma USA, Inc.が米国において行っていた本剤の新薬承認申請について、平成 23 年 4 月に審査完了報告通知を受領した後、平成 24 年 4 月に本申請の取り下げを行ったことを受けたものです。なお、日本における一日 1 回経皮吸収製剤については、平成 23 年 2 月に帝國製薬(香川県)と締結した独占的ライセンス契約に基づき、従来どおり開発を進めてまいります。
- 平成 24 年 4 月、英国子会社 Eisai Europe Ltd.が、抗がん剤「ハラヴェン」の中東欧地域における販売提携契約を Valeant Pharmaceuticals International, Inc. (カナダ)の子会社である PharmaSwiss S.A. (スイス)と締結いたしました。
- 平成 24 年 5 月、米国研究子会社 H3 Biomedicine Inc.が、個別化医療の研究ツールを提供する世界有数のベンチャー企業である Horizon Discovery Limited (英国)と、新規抗がん剤標的候補分子の同定とバリデーション(妥当性の検証)に関する共同研究契約を締結いたしました。
- 平成 24 年 6 月、日本での販売についてファイザー株式会社と共同販促契約を締結している末梢性神経障害性疼痛治療剤「リリカ カプセル」に関し、ファイザー株式会社は「線維筋痛症に伴う疼痛」の新たな効能・効果の承認を取得いたしました。
- 平成 24 年 6 月、米国子会社 Eisai Inc.が米国 Arena Pharmaceuticals, Inc.のスイス子会社 Arena Pharmaceuticals GmbH(以下、Arena 社)と米国における独占的商業化に係るライセンス契約を締結している肥満症治療剤「Belviq」(一般名:lorcaserin hydrochloride)について、BMI が 30kg/m² 以上、あるいは少なくとも 1 つ以上の合併症を患う BMI が 27kg/m² 以上の成人患者様の体重管理を目的とした食事療法と運動療法に対する補助療法として、米国食品医薬品局(FDA)より承認を取得いたしました。また、平成 24 年 7 月、Eisai Inc.が Arena 社より米国における販売承認権を承継いたしました。なお、平成 24 年 5 月、Eisai Inc.は、「Belviq」についての独占的商業化に関するライセンス契約の対象地域をメキシコ、ブラジル、カナダ等を含む米州 20 カ国に拡大することを Arena 社と合意いたしました。
- 平成 24 年 7 月、米国子会社 Eisai Inc.が米国の Verastem, Inc.と、がん幹細胞を標的とする Wnt シグナル阻害剤の創出に向けた共同研究契約を締結いたしました。

[その他]

- 平成 24 年 4 月、中東・北アフリカ地域における事業展開の拠点として、ドバイにリージョナルオフィスを開設いたしました。これに先立ち、バーレーンのリージョナルオフィスは閉鎖いたしました。
- 英国国立医療技術評価機構(NICE)が公開した抗がん剤「ハラヴェン」の最終評価決定に対して当社は不服申し立てを申請しておりましたが、平成 24 年 4 月、NICE は局所進行性・転移性乳がんに対する治療薬として本剤を推奨しない旨の技術評価ガイダンスを発行しました。NICE による決定後もイングランドでは政府のキャンサー・ドラッグズ・ファンド(NICE ガイダンスが未推奨の抗がん剤等を公費で助成する抗がん剤特別基金)を利用して「ハラヴェン」による治療を受けることができます。
- 平成 24 年 4 月、抗がん剤「ハラヴェン」は、ドイツの独立した医療制度の最高意思決

定機関であるドイツ連邦合同委員会(G-BA)により、複数の抗がん剤による前治療歴のある局所進行性・転移性乳がん患者様において、G-BA が定義した治療法に比較して追加ベネフィットを有していると評価されました。

3)連結財政状態に関する定性的情報

[資産等の状況]

- 当四半期末の資産合計は 9,771 億 73 百万円(前期末より 274 億 86 百万円減)となりました。固定資産の減価償却による減少、為替変動による海外子会社資産の円換算額の減少等により、資産が減少いたしました。
- 負債合計は、5,776 億 67 百万円(前期末より 35 億 64 百万円減)となりました。
- 純資産合計は 3,995 億 5 百万円(前期末より 239 億 22 百万円減)となり、自己資本比率は 40.2%(同 1.3 ポイント減)となりました。また、負債比率(Net DER)は、0.39 倍(同 0.02 ポイント増)となりました。

*負債比率(Net DER)の算式:(有利子負債(借入金+社債)-現預金-有価証券)÷自己資本

[キャッシュ・フローの状況](平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

- 営業活動から得たキャッシュ・フローは、282 億 58 百万円(前年同期より 204 億 51 百万円増)となりました。税金等調整前四半期純利益は 176 億 93 百万円、減価償却費は 102 億 7 百万円となりました。また、法人税等の支払額は、前年同期より 154 億 78 百万円減少し、75 億 24 百万円となりました。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、72 億 7 百万円の収入(前年同期より 210 億 10 百万円減)となりました。過年度子会社株式売却代金の回収による収入は、61 億 76 百万円となりました。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、205 億 65 百万円の支出(前年同期より 425 億 60 百万円減)となりました。配当金の支払額は 227 億 98 百万円となりました。
- 以上の結果、当四半期末における現金及び現金同等物は、1,233 億 16 百万円(前期末より 107 億 48 百万円増)となりました。

4) 連結業績予想に関する定性的情報(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

[連結業績予想]

- 第 2 四半期連結累計期間、通期の連結業績予想については、変更していません。

(%表示:通期は対前期、第 2 四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第 2 四半期 連結累計期間	297,000	△10.3	35,000	△30.6	32,500	△31.4	23,500	△29.5	82.46
通期	610,000	△5.9	87,000	△9.1	82,000	△8.9	59,000	0.8	207.03

(前提為替レート:1 米ドル 80 円、1 ユーロ 105 円、1 英ポンド 120 円)

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。
- 当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものです。
- 海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、ジェネリック医薬品に関するリスク、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性および品質に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、IT セキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、内部統制の整備等に関するリスクならびに災害等に関するリスク

なお、上記リスク項目の詳細に関しては、当社の有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

5)コーポレート・ガバナンスに関連する事項

(1)取締役の選任

平成24年6月21日開催の当社第100回定時株主総会において、社外取締役7名を含む11名の取締役が選任され、就任いたしました。

7名の社外取締役については、会社法施行規則第2条第3項第7号に定める社外取締役の要件を満たすとともに、以下の当社指名委員会が定めた「社外取締役の独立性・中立性の要件」を満たしております。

なお、当社は東京証券取引所が平成24年2月に「証券市場の信頼回復のためのコーポレート・ガバナンスに関する上場制度の見直しについて」と題する制度要綱を公表し、独立役員届出書の記載事項が拡充されたこととともない、その趣旨にもとづき、社外取締役7名全員を独立役員として届け出ております。

「社外取締役の独立性・中立性の要件」

(平成21年1月30日改正)

1. 社外取締役は、以下の要件を満たし、当社および当社の関係会社(以下併せて当社グループという)ならびに特定の企業等から経済的に独立していなければならない。
 - ①社外取締役は、過去5年間に、当社グループから一定額以上の報酬(当社からの取締役報酬を除く)または業務、取引の対価等金銭その他の財産を直接受け取ってはならない。
 - ア. 一定額以上とは、過去5年間のいずれかの会計年度における受取額が1千万円以上となるものをいう
 - イ. 本人が間接的に受け取っている場合は、その実質について慎重に判断する
 - ②社外取締役は、過去5年間に、以下の企業等(持株会社を含む)の取締役、執行役、その他の役員であってはならない。
 - ア. 過去5年間のいずれかの会計年度に、当社グループとの業務、取引の対価の支払額または受取額が、取引先の売上高の2%以上ある企業等
 - イ. 取引額にかかわらず、当社の監査法人等、当社グループと実質的な利害関係を有する企業等
 - ウ. 当社の大株主(発行済株式総数の10%以上の保有)である企業等
 - エ. 当社グループが大株主(発行済株式総数の10%以上の保有)となっている企業等
 - ③社外取締役は、前号に定める企業等の取締役、執行役、その他の役員を退任後5年以上経過した場合であっても、当該企業等との関係を以下の点で指名委員会が評価し、独立性・中立性を確保していると判断されなければならない。
 - ア. 社外取締役の当該企業等の株式保有
 - イ. 社外取締役の当該企業等からの退任後の処遇
 - ウ. 当社グループと当該企業等の人的交流
2. 社外取締役は、当社グループの取締役、執行役の近親者またはそれに類する者であってはならない。
 - ①近親者とは、配偶者、3親等までの血族および同居の親族をいう
 - ②それに類する者とは、個人的な利害関係者など、独立取締役としての職務を果たせないと合理的に認められる人間関係を有している者をいう
3. 社外取締役は、第1項に該当する者と生計を一にする利害関係者であってはならない。
4. その他、社外取締役は、独立取締役としての職務を果たせないと合理的に認められる事情を有してはならない。
5. 社外取締役は、本条に定める独立性・中立性の要件を、取締役就任後も継続して確保するものとする。

(2)取締役会体制の決定

第 100 回定時株主総会終了後の取締役会において、取締役議長の選定ならびに指名、報酬および監査委員会の各委員長および委員が選定され、次のとおり取締役会の体制が決定され、それぞれ就任いたしました。(*は社外取締役)

なお、社外取締役独立委員会は、社外取締役全員で構成し、平成 24 年 6 月 21 日開催の社外取締役独立委員会において、鈴木修が委員長に選定され、就任いたしました。

内 藤 晴 夫	代表執行役社長兼CEO
藤 吉 彰	監査委員会委員
クリスティーナ・アメージャン *	監査委員会委員、社外取締役独立委員会委員
泉 徳 治 *	取締役議長、社外取締役独立委員会委員
増 田 宏 一 *	監査委員会委員長、社外取締役独立委員会委員
太 田 清 史 *	指名委員会委員長、報酬委員会委員、社外取締役独立委員会委員
青 井 倫 一 *	報酬委員会委員長、指名委員会委員、社外取締役独立委員会委員
松 居 秀 明	監査委員会委員
出 口 宣 夫	
グレアム・フライ *	指名委員会委員、報酬委員会委員、社外取締役独立委員会委員
鈴木 修 *	監査委員会委員、社外取締役独立委員会委員長

(3)「当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針」の検討状況

平成 24 年 6 月 21 日に開催された社外取締役独立委員会(委員長:鈴木修)では、「当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針」(以下、本対応方針)が

- ①経営陣の恣意性が排除されている
- ②本対応方針は、毎年、継続・見直し・廃止が検討される
- ③取締役選任議案をもって、本対応方針に対する株主の皆様のご意向を反映できる

という 3 点の仕組みを有しており、一部記載形式の変更は行うが、内容としては現行で継続することを当社取締役会に提案する旨決議しました。

当社取締役会は、平成 24 年 8 月 1 日開催の取締役会において、社外取締役独立委員会より提案された上記の内容を旨とする議案について審議し、提案通りに決議しました。

本対応方針は、平成 18 年 2 月開催の取締役会において社外取締役独立委員会より提案され、導入されたものであり、平成 23 年 4 月より平成 27 年度を最終年度とする新たな中期戦略計画「はやぶさ」がスタートしたことに伴い、本対応方針の有効期間を計画「はやぶさ」(平成 23 年 4 月から平成 28 年 3 月までを対象)を包含すべく平成 28 年 6 月までとすること、ならびに本対応方針導入以降の法令および東京証券取引所の諸規則の改正および買収防衛策に関する近時の議論の動向等も踏まえ、一部記載事項の追加や文言の変更等を行うことにあわせて、本対応方針が上記 3 点の仕組みを有しており、内容としては現行で継続することを、社外取締役独立委員会が当社取締役会に提案する旨の決議を行い、平成 23 年 8 月に取締役会決議により継続されたものです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- 1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- 2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- 3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	104,444	99,058
受取手形及び売掛金	197,166	187,604
有価証券	83,737	92,619
商品及び製品	43,108	45,087
仕掛品	18,283	17,770
原材料及び貯蔵品	13,804	14,067
繰延税金資産	42,479	41,884
その他	22,974	19,403
貸倒引当金	△163	△101
流動資産合計	525,835	517,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	85,580	82,708
その他(純額)	57,998	55,294
有形固定資産合計	143,578	138,003
無形固定資産		
のれん	119,054	112,982
販売権	65,338	63,962
技術資産	40,492	38,938
その他	13,755	12,751
無形固定資産合計	238,640	228,634
投資その他の資産		
投資有価証券	39,079	38,569
繰延税金資産	45,101	42,469
その他	12,586	12,272
貸倒引当金	△163	△169
投資その他の資産合計	96,605	93,141
固定資産合計	478,824	459,778
資産合計	1,004,660	977,173

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,205	24,096
短期借入金	6,000	8,500
1年内返済予定の長期借入金	40,000	55,862
1年内償還予定の社債	—	49,998
未払金	41,540	54,424
未払費用	56,021	49,669
未払法人税等	11,289	12,452
売上割戻引当金	16,473	16,414
その他の引当金	681	705
その他	9,718	7,357
流動負債合計	207,932	279,480
固定負債		
社債	79,994	29,997
長期借入金	219,314	201,724
繰延税金負債	23,019	19,027
退職給付引当金	31,385	23,694
役員退職慰労引当金	600	594
その他	18,986	23,149
固定負債合計	373,300	298,187
負債合計	581,232	577,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,985	44,985
資本剰余金	56,898	56,898
利益剰余金	464,176	453,250
自己株式	△39,422	△39,426
株主資本合計	526,638	515,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,241	1,277
繰延ヘッジ損益	△1,054	△1,104
為替換算調整勘定	△110,032	△122,947
その他の包括利益累計額合計	△109,844	△122,774
新株予約権	990	1,015
少数株主持分	5,643	5,556
純資産合計	423,427	399,505
負債純資産合計	1,004,660	977,173

2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	167,292	146,908
売上原価	42,961	43,195
売上総利益	124,330	103,712
返品調整引当金繰入額	40	—
返品調整引当金戻入額	—	10
差引売上総利益	124,290	103,723
販売費及び一般管理費	102,074	84,578
営業利益	22,215	19,145
営業外収益		
受取利息	206	244
受取配当金	529	391
為替差益	22	—
その他	69	102
営業外収益合計	828	737
営業外費用		
支払利息	1,820	1,713
為替差損	—	132
その他	64	97
営業外費用合計	1,884	1,943
経常利益	21,158	17,939
特別利益		
固定資産売却益	1	59
その他	—	4
特別利益合計	1	64
特別損失		
固定資産処分損	28	26
投資有価証券評価損	—	282
その他	3	—
特別損失合計	32	309
税金等調整前四半期純利益	21,127	17,693
法人税、住民税及び事業税	6,487	6,266
法人税等調整額	1,034	△544
法人税等合計	7,522	5,722
少数株主損益調整前四半期純利益	13,605	11,971
少数株主利益	100	99
四半期純利益	13,505	11,872

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,605	11,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△589	32
繰延ヘッジ損益	△141	△50
為替換算調整勘定	△8,135	△13,072
その他の包括利益合計	△8,865	△13,091
四半期包括利益	4,739	△1,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,753	△1,058
少数株主に係る四半期包括利益	△13	△62

3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	21,127	17,693
減価償却費	10,529	10,207
のれん償却額	1,851	1,890
その他の損益(△は益)	1,118	1,269
売上債権の増減額(△は増加)	△1,048	7,516
たな卸資産の増減額(△は増加)	△619	△3,317
仕入債務の増減額(△は減少)	1,777	△1,868
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,703	5,802
売上割戻引当金の増減額(△は減少)	△5,190	523
その他	4,895	△3,125
小計	31,737	36,591
利息及び配当金の受取額	746	614
利息の支払額	△1,673	△1,423
法人税等の支払額	△23,002	△7,524
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,807	28,258
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,095	△3,020
無形固定資産の取得による支出	△538	△3,243
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,524	△1,123
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2,355	1,379
過年度子会社株式売却代金の回収による収入	—	6,176
3カ月超預金の純増減額(△は増加)	30,845	6,792
その他	176	245
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,217	7,207
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	2,500
社債の償還による支出	△40,000	—
配当金の支払額	△22,796	△22,798
その他	△329	△266
財務活動によるキャッシュ・フロー	△63,125	△20,565
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,821	△4,151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△28,922	10,748
現金及び現金同等物の期首残高	102,800	112,567
現金及び現金同等物の四半期末残高	73,878	123,316

4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6) セグメント情報

当第1四半期連結会計期間より、当連結グループは報告セグメントの区分方法を変更しております。

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

変更後の区分方法により作成した前第1四半期連結累計期間の報告セグメントの売上高、利益(又は損失)に関する情報は次のとおりです。

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益(又は損失)金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント(注1)					その他 (注2)	合計
	医薬品事業						
	イースト・アジア	アメリカス	EMEA	インド・パシフィック	計		
外部顧客への売上高	98,840	44,764	12,409	1,716	157,730	9,562	167,292
セグメント利益	42,150	10,243	1,059	386	53,839	4,294	58,133

(注)1 各報告セグメントに属する主な国または地域は次のとおりです。

- ①イースト・アジア: 日本、中国、韓国、台湾、香港
- ②アメリカス: 北米、中南米
- ③EMEA: 欧州、中東、アフリカ
- ④インド・パシフィック(Indo-Pacific): 南アジア、アセアン、オセアニア

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品原料・製薬用機械などに係る事業を含んでおります。

(2) 報告セグメントの利益(又は損失)の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメントの利益計	53,839
「その他」の区分の利益	4,294
研究開発費(注1)	△33,721
親会社の本社管理費等(注2)	△2,196
四半期連結損益計算書の営業利益	22,215

(注)1 当連結グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

2 親会社の本社管理費等は、当連結グループ全体の運営に係る費用であるため、セグメントに配分しておりません。

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益(又は損失)金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント(注1)					その他 (注2)	合計
	医薬品事業						
	イースト・アジア	アメリカス	EMEA	インド・パシフィック	計		
外部顧客への売上高	93,427	38,604	6,908	1,643	140,584	6,323	146,908
セグメント利益	38,130	8,124	428	355	47,038	2,866	49,905

(注)1 各報告セグメントに属する主な国または地域は次のとおりです。

- ①イースト・アジア: 日本、中国、韓国、台湾、香港
- ②アメリカス: 北米、中南米
- ③EMEA: 欧州、中東、アフリカ
- ④インド・パシフィック(Indo-Pacific): 南アジア、アセアン、オセアニア

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品原料などに係る事業を含んでおります。

(2) 報告セグメントの利益(又は損失)の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメントの利益計	47,038
「その他」の区分の利益	2,866
研究開発費(注1)	△28,363
親会社の本社管理費等(注2)	△2,396
四半期連結損益計算書の営業利益	19,145

(注)1 当連結グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

2 親会社の本社管理費等は、当連結グループ全体の運営に係る費用であるため、セグメントに配分しておりません。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結グループのセグメントは、医薬品事業とその他事業から構成されており、医薬品事業の各リージョンを報告セグメントとしております。

当連結グループは、従来、医薬品事業をイースト・アジア(日本、中国、韓国、台湾、香港)、米国、欧州、ニューマーケット・アセアン(ブラジル、メキシコ、ロシア、カナダ、オーストラリア、インド、中東、東南アジア等)の4リージョン体制としておりましたが、カナダ、メキシコ、ブラジルをはじめとする新市場に対するマネジメントを各リージョンから直接行うことを目的に、当第1四半期連結会計期間より4リージョンの担当地域を再編いたしました。新たな4リージョン体制は、イースト・アジア(日本、中国、韓国、台湾、香港)、アメリカス(北米、中南米)、EMEA(欧州、中東、アフリカ)、インド・パシフィック(Indo-Pacific:南アジア、アセアン、オセアニア)です。

この再編に合わせて報告セグメントの区分方法を変更し、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報にも反映させております。

(4) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

7) 重要な後発事象

該当事項はありません。



hvc
human health care

証券コード： 4523

2012.6

参 考 資 料

平成 25 年 3 月期第 1 四半期決算

2012 年 8 月 1 日

お問い合わせ

エーザイ株式会社

PR 部・IR 部

TEL 03-3817-5120 FAX 03-3811-3077

<http://www.eisai.co.jp/ir/>

【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものです。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、ジェネリック医薬品に関するリスク、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性および品質に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、内部統制の整備等に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク

目次

1. 連結財務ハイライト	1
2. 連結損益計算書	3
3. 連結キャッシュ・フロー計算書	5
4. セグメント情報	6
5. セグメント別売上高予想	11
6. 連結貸借対照表	12
7. 連結四半期業績の推移	14
8. 個別情報	18
9. 主なニュースリリース	19
10. 主要開発品	20

- * 当資料中の数字は、四捨五入で表示しております。
- * 当資料の作成に用いた為替レートは、下表のとおりです。
- * 海外の損益情報については、期中平均レートを用いて円換算しております。

為替レート

		米国 (円/米ドル)	欧州 (円/ユーロ)	英国 (円/ポンド)	中国 (円/人民元)
2012年3月期 第1四半期	期中平均レート	81.74	117.40	133.23	12.56
	期末日レート	80.73	116.84	129.78	12.47
2012年3月期	期中平均レート	79.08	108.97	126.22	12.36
	期末日レート	82.19	109.80	131.34	13.06
2013年3月期 第1四半期	期中平均レート	80.20	102.90	126.85	12.71
	期末日レート	79.31	98.74	123.12	12.55
2013年3月期	予想レート	80.00	105.00	120.00	12.50

【本資料の記載項目について】

当社グループでは、企業評価において最も本質的な能力はキャッシュ創出力と考えております。この基本的考え方に基づき、真の収益力を反映することを目的として、企業買収などで発生するのれん償却額や一括費用計上するインプロセス研究開発費、また、有形・無形固定資産の減価償却費、減損損失（投資有価証券評価損含む）という非キャッシュ損益項目を調整した「キャッシュ・インカム」「1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）」を表示しております。

* キャッシュ・インカム

成長投資、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。

算式：当期純損益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額
＋減損損失（投資有価証券評価損含む）

* 1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）

算式：キャッシュ・インカム÷期中平均株式数（自己株式控除後）

【セグメント情報について】

当社グループのセグメントは、医薬品事業とその他事業から構成されており、医薬品事業の各リージョンを報告セグメントとしております。2013年3月期より、イースト・アジア（日本、中国、韓国、台湾、香港）、アメリカス（北米、中南米）、EMEA（欧州、中東、アフリカ）、インド・パシフィック（Indo-Pacific：南アジア、アセアン、オセアニア）の4つのリージョンを新しい報告セグメントとして構成いたしました。これに伴い、本資料のセグメント情報に関する2012年3月期の数値を新しい報告セグメントに基づいて記載しております。

1. 連結財務ハイライト

1) 損益計算書項目

	第1四半期			通期	
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期	2013年 3月期(予)
売上高	1,673	1,469	87.8	6,480	6,100
売上原価	430	432	100.4	1,734	1,760
研究開発費	337	284	84.1	1,251	1,260
販売費・一般管理費	684	562	82.2	2,537	2,210
営業利益	222	191	86.2	957	870
経常利益	212	179	84.8	900	820
四半期(当期)純利益	135	119	87.9	585	590
キャッシュ・インカム	259	243	93.7	1,077	1,075
四半期包括利益又は包括利益	47	△11	—	556	—
			前年同期差		
1株当たり配当金(DPS/円)	—	—	—	150.0	150.0
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS/円)	47.4	41.7	△5.7	205.3	207.0
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	90.8	85.1	△5.7	377.8	377.2

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

2) キャッシュ・フロー計算書項目

	第1四半期			通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	増減額	2012年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	78	283	205	906
投資活動によるキャッシュ・フロー	282	72	△210	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△631	△206	426	△780
現金及び現金同等物の期末残高	739	1,233	494	1,126
フリー・キャッシュ・フロー	42	223	181	714

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

3) 貸借対照表項目

	2012年		増減額
	3月末	6月末	
総資産	10,047	9,772	△275
負債	5,812	5,777	△36
社債	800	800	0
借入金	2,653	2,661	8
純資産	4,234	3,995	△239
自己資本	4,168	3,929	△239
自己資本比率(%)	41.5	40.2	△1.3
負債比率(Net DER/倍)	0.38	0.39	0.02

*負債比率(Net DER)＝(有利子負債(借入金＋社債)－現預金－有価証券)／自己資本

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

	第1四半期			通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	増減額	2012年 3月期
資本的支出額	27	70	43	207
有形固定資産	18	13	△5	127
無形固定資産	9	56	48	80
減価償却費	105	102	△3	417

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

5) セグメント情報

(1) 報告セグメント別売上高

	第1四半期			通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
イースト・アジア 医薬品事業	988	934	94.5	4,004
日本 医薬品事業	918	854	93.1	3,726
アメリカス 医薬品事業	448	386	86.2	1,575
米国 医薬品事業	448	385	86.1	1,574
EMEA 医薬品事業	124	69	55.7	427
インド・パシフィック (Indo-Pacific) 医薬品事業	17	16	95.7	67
その他	96	63	66.1	407
連結売上高	1,673	1,469	87.8	6,480

*外部顧客に対する売上高を示しております。

(2) 報告セグメント別利益

	第1四半期		
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %
イースト・アジア 医薬品事業	422	381	90.5
日本 医薬品事業	403	367	91.0
アメリカス 医薬品事業	102	81	79.3
EMEA 医薬品事業	11	4	40.4
インド・パシフィック (Indo-Pacific) 医薬品事業	4	4	92.1
その他	43	29	66.8
研究開発費	337	284	84.1
親会社の本社管理費等	22	24	109.1
連結営業利益	222	191	86.2

*当社グループのセグメントは、医薬品事業とその他事業から構成されており、医薬品事業の各リージョンを報告セグメントとしております。

*当社グループは、医薬品事業をイースト・アジア（日本、中国、韓国、台湾、香港）、アメリカス（北米、中南米）、EMEA（欧州、中東、アフリカ）、インド・パシフィック（Indo-Pacific：南アジア、アセアン、オセアニア）で構成し、各リージョンの特性に応じた戦略を企画・推進しており、医薬品事業では、主に医療用医薬品の製造・販売を行っております。

2. 連結損益計算書

	第1四半期						通期	
	2012年 3月期	売上比 %	2013年 3月期	売上比 %	前年同期比 %	増減額	2012年 3月期	売上比 %
売上高	1,673	100.0	1,469	100.0	87.8	△204	6,480	100.0
売上原価	430	25.7	432	29.4	100.4	2	1,734	26.8
売上総利益	1,243	74.3	1,037	70.6	83.5	△206	4,746	73.2
研究開発費	337	20.2	284	19.3	84.1	△54	1,251	19.3
販売費・一般管理費	684	40.9	562	38.3	82.2	△121	2,537	39.1
人件費	207	12.4	175	11.9	84.3	△33	745	11.5
販売費	346	20.7	271	18.4	78.1	△76	1,271	19.6
管理費他	130	7.8	117	7.9	90.0	△13	521	8.0
営業利益	222	13.3	191	13.0	86.2	△31	957	14.8
営業外収益	8	0.5	7	0.5		△1	20	0.3
営業外費用	19	1.1	19	1.3		1	77	1.2
経常利益	212	12.6	179	12.2	84.8	△32	900	13.9
特別利益	0	0.0	1	0.0		1	63	1.0
特別損失	0	0.0	3	0.2		3	17	0.3
税金等調整前四半期（当期）純利益	211	12.6	177	12.0	83.7	△34	946	14.6
法人税、住民税及び事業税	65	3.9	63	4.3		△2	286	4.4
法人税等調整額	10	0.6	△5	△0.4		△16	71	1.1
少数株主損益調整前四半期（当期）純利益	136	8.1	120	8.1	88.0	△16	589	9.1
少数株主利益	1	0.1	1	0.1		△0	4	0.1
四半期（当期）純利益	135	8.1	119	8.1	87.9	△16	585	9.0

*売上原価には返品調整引当金繰入（戻入）額を含めて表示しております。

<キャッシュ・インカム>

四半期（当期）純利益	135	8.1	119	8.1	87.9	△16	585	9.0
有形・無形固定資産減価償却費	64		62				257	
買収に伴う無形固定資産減価償却費	41		40				160	
のれん償却額	19		19				70	
減損損失（投資有価証券評価損含む）	—		3				5	
キャッシュ・インカム	259	15.5	243	16.5	93.7	△16	1,077	16.6

<コメント>

売上高	・アリセプト148億円の減少、パリエット／アシフェックス47億円の減少、ハラヴェン29億円の増加
売上原価率の上昇	・日本の薬価改定の影響、品目ミックスの変化
研究開発費の減少	・大型臨床試験の終了など
販売費・一般管理費の減少	・日本、欧州におけるアリセプト提携費用の減少、人件費の減少、全社での販売費・一般管理費の効率化

<連結包括利益計算書>

(億円)

	第1四半期				通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	増減額	2012年 3月期
少数株主損益調整前四半期（当期）純利益	136	120	88.0	△16	589
その他の包括利益	△89	△131	—	△42	△33
その他有価証券評価差額金	△6	0		6	11
繰延ヘッジ損益	△1	△1		1	△2
為替換算調整勘定	△81	△131		△49	△42
四半期包括利益又は包括利益	47	△11	—	△59	556
（内訳）					
親会社株主に係る包括利益	48	△11	—	△58	553
少数株主に係る包括利益	△0	△1	—	△0	3

3. 連結キャッシュ・フロー計算書

	第1四半期		増減額
	2012年 3月期	2013年 3月期	
税金等調整前四半期純利益	211	177	△34
減価償却費・のれん償却額	124	121	△3
売上債権・仕入債務及びたな卸資産の増減額	1	23	22
未払金・未払費用等の増減額	△27	58	85
その他	8	△13	△22
(小計)	317	366	49
利息等の受取及び支払額	△9	△8	1
法人税等の支払額	△230	△75	155
営業活動によるキャッシュ・フロー	78	283	205
資本的支出等(キャッシュベース)	△36	△60	△24
有価証券・投資有価証券の取得・売却等	8	3	△6
過年度子会社株式売却代金の回収による収入	—	62	62
3カ月超預金の純増減額	308	68	△241
その他	2	△0	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	282	72	△210
短期借入金の純増減額	—	25	25
社債の償還による支出	△400	—	400
配当金の支払額	△228	△228	△0
その他	△3	△3	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△631	△206	426
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	△42	△23
現金及び現金同等物の増減額	△289	107	397
現金及び現金同等物の期首残高	1,028	1,126	98
現金及び現金同等物の期末残高	739	1,233	494
フリー・キャッシュ・フロー	42	223	181

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

<コメント>

■営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・前期の課税所得減少による法人税等の当期支払額の減少

■投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・前期の製薬用機械事業売却による未収金回収

■財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・現金配当による支出

4. セグメント情報

1) イースト・アジア 医薬品事業（日本、中国、韓国、台湾、香港）

（億円）

	第1四半期			通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
売上高	988	934	94.5 <94.7>	4,004
セグメント利益	422	381	90.5	1,674

イースト・アジア 売上高明細

日本 売上高	918	854	93.1	3,726
医療用医薬品	821	755	92.0	3,312
ジェネリック医薬品（エルメッド エーザイ）	32	44	138.7	137
一般用医薬品等	50	41	82.1	217
診断薬（エーディア）	15	14	92.4	60
日本 医療用医薬品 主力品売上高				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	285	217	76.1	1,083
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	148	131	88.5	609
末梢性神経障害治療剤 メチコバル	74	68	91.8	300
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	46	58	124.2	205
疼痛治療剤（末梢性神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ*	21	31	146.7	113
経口抗凝固剤 ワーファリン	24	27	108.3	99
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	29	24	83.6	110
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	26	21	81.6	100
抗がん剤 ハラヴェン	—	13	—	31
日本 一般用医薬品等 主力品グループ売上高				
ビタミンB ₂ 主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	28	24	86.4	113

*リリカの売上高は共同販促収入です。

中国 売上高	億円	41	51	124.0 <122.5>	169
中国 主力品売上高					
末梢性神経障害治療剤 メチコバル	億円 (百万人民元)	18 (146)	22 (175)	121.1 <119.6>	75 (605)
肝臓疾患用剤・アレルギー用剤 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠	億円 (百万人民元)	8 (67)	9 (72)	109.0 <107.7>	37 (303)
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円 (百万人民元)	4 (31)	6 (49)	162.1 <160.2>	16 (131)
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円 (百万人民元)	3 (20)	3 (26)	132.2 <130.6>	12 (95)

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しております。

2) アメリカス 医薬品事業 (北米、中南米)

		第1四半期		
		2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	448	386	86.2 <87.9>
セグメント利益	億円	102	81	79.3
アメリカス 主力品売上高				
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	億円 (百万米ドル)	158 (194)	132 (164)	83.2 <84.8>
制吐剤 Aloxi	億円	97	95	98.5 <100.4>
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	97 (118)	95 (119)	98.5 <100.4>
DNAメチル化阻害剤 Dacogen	億円 (百万米ドル)	49 (60)	44 (55)	90.3 <92.1>
抗がん剤 ハラヴェン	億円	25	31	124.5 <126.9>
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	25 (31)	31 (39)	124.4 <126.8>
血液凝固阻止剤 Fragmin	億円 (百万米ドル)	35 (43)	29 (36)	81.4 <83.0>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円 (百万米ドル)	47 (57)	24 (30)	50.7 <51.7>

*アリセプトの2013年3月期第1四半期の売上高のうち、アリセプト錠23mgの売上高は15億円(19百万米ドル)です。

*Dacogen、Fragminの販売国は米国のみです。また、アリセプト、アシフェックスの自社販売国は米国のみです。

3) EMEA 医薬品事業 (欧州、中東、アフリカ)

		第1四半期		
		2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	124	69	55.7 <62.7>
セグメント利益	億円	11	4	40.4
EMEA 主力品売上高				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円	68	12	16.9 <19.2>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円	14	12	81.0 <91.0>
てんかん治療剤 ゾネグラン	億円	12	11	92.8 <104.7>
抗がん剤 ハラヴェン	億円	1	10	1058.2 <1187.5>

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しております。

4) Indo-Pacific 医薬品事業（南アジア、アセアン、オセアニア）

		第1四半期		
		2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	17	16	95.7 <102.2>
セグメント利益	億円	4	4	92.1
Indo-Pacific 主力品売上高				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円	5	4	82.0 <87.7>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円	4	4	95.1 <102.9>
末梢性神経障害治療剤 メチコバル	億円	2	2	108.0 <113.9>
抗がん剤 ハラヴェン	億円	0	0	720.5 <739.8>

*前年同期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しております。

5) 主力品売上高

(1) がん関連領域製品

		第1四半期			通期
		2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
がん関連領域製品計	億円	240	252	105.0 <107.5>	931
ハラヴェン (抗がん剤)	億円	26	55	212.0 <219.3>	160
イースト・アジア	億円	—	13	—	31
日本 医療用医薬品	億円	—	13	—	31
アメリカス	億円	25	31	124.5 <126.9>	109
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	25 (31)	31 (39)	124.4 <126.8>	109 (137)
EMEA	億円	1	10	1058.2 <1187.5>	20
Indo-Pacific	億円	0	0	720.5 <739.8>	0
Aloxi (制吐剤)	億円	97	95	98.5 <100.4>	345
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	97 (118)	95 (119)	98.5 <100.4>	345 (436)
Dacogen (DNAメチル化阻害剤)	億円 (百万米ドル)	49 (60)	44 (55)	90.3 <92.1>	173 (219)
Fragmin (血液凝固阻止剤)	億円 (百万米ドル)	35 (43)	29 (36)	81.4 <83.0>	139 (176)
トリアキシシン/シンベンダ (抗がん剤)	億円	8	9	112.3 <112.4>	32
その他	億円	25	20	78.7 <82.1>	82

*Dacogen、Fragminの販売国は米国のみです。

(2) アリセプト (アルツハイマー型認知症治療剤)

		第1四半期			通期
		2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
アリセプト計	億円	420	273	64.9 <65.6>	1,471
イースト・アジア	億円	300	233	77.8 <78.0>	1,138
日本 医療用医薬品	億円	285	217	76.1	1,083
アメリカス	億円 (百万米ドル)	47 (57)	24 (30)	50.7 <51.7>	114 (144)
EMEA	億円	68	12	16.9 <19.2>	201
Indo-Pacific	億円	5	4	82.0 <87.7>	17

*アリセプトの2013年3月期第1四半期の売上高のうち、アリセプト錠23mgの売上高は15億円 (19百万米ドル) です。

*アメリカスは、米国のみがアリセプト自社販売国になります。

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しております。

(3) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害剤)

		第1四半期			通期
		2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
パリエット/アシフェックス計	億円	332	285	85.9 <87.2>	1,264
イースト・アジア	億円	155	138	88.9 <89.0>	636
日本 医療用医薬品	億円	148	131	88.5	609
アメリカス	億円 (百万米ドル)	158 (194)	132 (164)	83.2 <84.8>	559 (707)
EMEA	億円	14	12	81.0 <91.0>	52
Indo-Pacific	億円	4	4	95.1 <102.9>	17

*アメリカスは、米国のみがアシフェックスの自社販売国になります。

(4) ヒュミラ (ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体)

		第1四半期			通期
		2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
ヒュミラ計	億円	55	68	124.7 <125.9>	240
イースト・アジア	億円	55	68	124.7 <125.9>	240
日本 医療用医薬品	億円	46	58	124.2	205

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しております。

6) 海外売上高

	第1四半期			(億円) 通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
海外売上高	720	585	81.2	2,583
海外売上高比率 (%)	43.0	39.8	—	39.9

*外部顧客に対する売上高を示しております。

5. セグメント別売上高予想（2013年3月期）

	(億円)		
	第1四半期 2013年 3月期	通期 2012年 3月期 2013年 3月期(予)	
イースト・アジア	934	4,004	4,005
日本	854	3,726	3,705
医療用医薬品	755	3,312	3,230
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	217	1,083	900
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	131	609	530
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	68	300	280
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	58	205	280
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	24	110	100
経口抗凝固剤 ワーファリン	27	99	100
抗がん剤 ハラヴェン	13	31	100
一般用医薬品等	41	217	220
ビタミンB ₂ 主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	24	113	120
ジェネリック医薬品（エルメッド エーザイ）	44	137	190
診断薬（エーティア）	14	60	65
中国	51	169	200
アメリカス	386	1,575	1,530
米国	385	1,574	1,520
EMEA	69	427	310
Indo-Pacific	16	67	70
その他	63	407	185
連結売上高	1,469	6,480	6,100

*新報告セグメント別の2012年3月期の売上高は「参考値」として表示しております。

*アリセプトの2013年3月期の売上高予想の総計は1120億円を見込んでおります。

*パリエット/アシフェックスの2013年3月期の売上高予想の総計は1085億円を見込んでおります。

*ハラヴェンの2013年3月期の売上高予想の総計は285億円を見込んでおります。

6. 連結貸借対照表

1) 貸借対照表<資産の部>

(億円)

	2012年 3月末	構成比 %	2012年 6月末	構成比 %	前期末比 %	増減額
流動資産	5,258	52.3	5,174	52.9	98.4	△84
現金及び預金	1,044		991			△54
受取手形及び売掛金	1,972		1,876			△96
有価証券	837		926			89
たな卸資産	752		769			17
繰延税金資産	425		419			△6
その他	230		194			△36
貸倒引当金	△2		△1			1
固定資産	4,788	47.7	4,598	47.1	96.0	△190
有形固定資産	1,436	14.3	1,380	14.1	96.1	△56
建物及び構築物	856		827			△29
その他	580		553			△27
無形固定資産	2,386	23.8	2,286	23.4	95.8	△100
のれん	1,191		1,130			△61
販売権	653		640			△14
技術資産	405		389			△16
その他	138		128			△10
投資その他の資産	966	9.6	931	9.5	96.4	△35
投資有価証券	391		386			△5
繰延税金資産	451		425			△26
その他	126		123			△3
貸倒引当金	△2		△2			△0
資産合計	10,047	100.0	9,772	100.0	97.3	△275

<コメント>

■資産合計

- ・ 固定資産の減価償却による減少
- ・ 為替変動による海外子会社資産の円換算額の減少

2) 貸借対照表<負債及び純資産の部>

(億円)

	2012年 3月末	構成比 %	2012年 6月末	構成比 %	前期末比 %	増減額
流動負債	2,079	20.7	2,795	28.6	134.4	715
支払手形及び買掛金	262		241			△21
短期借入金	60		85			25
1年内返済予定の長期借入金	400		559			159
1年内償還予定の社債	—		500			500
未払金・未払費用	976		1,041			65
未払法人税等	113		125			12
売上割戻引当金	165		164			△1
その他	104		81			△23
固定負債	3,733	37.2	2,982	30.5	79.9	△751
社債	800		300			△500
長期借入金	2,193		2,017			△176
繰延税金負債	230		190			△40
退職給付引当金	314		237			△77
その他	196		237			42
負債合計	5,812	57.9	5,777	59.1	99.4	△36
株主資本	5,266	52.4	5,157	52.8	97.9	△109
資本金	450		450			—
資本剰余金	569		569			—
利益剰余金	4,642		4,533			△109
自己株式	△394		△394			△0
その他の包括利益累計額	△1,098	△10.9	△1,228	△12.6	111.8	△129
その他有価証券評価差額金	12		13			0
繰延ヘッジ損益	△11		△11			△1
為替換算調整勘定	△1,100		△1,229			△129
新株予約権	10	0.1	10	0.1	102.5	0
少数株主持分	56	0.6	56	0.6	98.5	△1
純資産合計	4,234	42.1	3,995	40.9	94.4	△239
負債純資産合計	10,047	100.0	9,772	100.0	97.3	△275

<コメント>

■負債合計

- ・社債500億円、長期借入金159億円、合計659億円を固定負債から流動負債へ振替

■純資産合計

- ・円高による海外子会社純資産の円換算額の減少

7. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

	2012年3月期				2013年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
売上高	1,673	1,637	1,738	1,432	1,469
売上原価	430	427	436	441	432
研究開発費	337	292	310	313	284
販売費・一般管理費	684	636	674	543	562
営業利益	222	282	318	135	191
経常利益	212	262	306	121	179
四半期純利益	135	198	159	93	119
キャッシュ・インカム	259	318	280	220	243
四半期包括利益	47	15	182	313	△11
1株当たり四半期純利益 (EPS/円)	47.4	69.6	55.7	32.7	41.7
1株当たりキャッシュ・インカム (キャッシュEPS/円)	90.8	111.6	98.3	77.2	85.1

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

2) キャッシュ・フロー計算書項目

	2012年3月期				2013年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	78	286	185	358	283
投資活動によるキャッシュ・フロー	282	△162	△19	△127	72
財務活動によるキャッシュ・フロー	△631	△3	68	△213	△206
現金及び現金同等物の期末残高	739	812	1,049	1,126	1,233
フリー・キャッシュ・フロー	42	245	144	283	223

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

3) 貸借対照表項目

	2012年3月期				2013年3月期
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
総資産	9,596	9,432	9,705	10,047	9,772
負債	5,672	5,494	5,784	5,812	5,777
社債	800	800	800	800	800
借入金	2,584	2,560	2,836	2,653	2,661
純資産	3,923	3,939	3,921	4,234	3,995
自己資本	3,861	3,877	3,858	4,168	3,929
自己資本比率 (%)	40.2	41.1	39.8	41.5	40.2
負債比率 (Net DER/倍)	0.56	0.47	0.49	0.38	0.39

*負債比率 (Net DER) = (有利子負債(借入金+社債) - 現金 - 有価証券) / 自己資本

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2012年3月期				2013年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
資本的支出額	27	42	48	90	70
有形固定資産	18	27	26	56	13
無形固定資産	9	16	22	33	56
減価償却費	105	102	102	108	102

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

5) 主力品売上高

(1) がん関連領域製品

		2012年3月期				2013年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
がん関連領域製品計	億円	240	223	228	240	252
ハラヴェン	億円	26	36	46	51	55
イースト・アジア	億円	—	6	12	13	13
日本 医療用医薬品	億円	—	6	12	13	13
アメリカス	億円	25	26	28	30	31
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	25 (31)	26 (33)	28 (35)	30 (38)	31 (39)
EMEA	億円	1	4	6	8	10
Indo-Pacific	億円	0	0	0	0	0
Aloxi	億円	97	86	76	86	95
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	97 (118)	86 (111)	76 (98)	86 (109)	95 (119)
Dacogen	億円 (百万米ドル)	49 (60)	36 (46)	43 (56)	45 (57)	44 (55)
Fragmin	億円 (百万米ドル)	35 (43)	37 (48)	35 (46)	31 (40)	29 (36)
トリアキシシン/シンベンダ	億円	8	8	8	7	9
その他	億円	25	19	19	19	20

*Dacogen、Fragminの販売国は米国のみです。

(2) アリセプト

		2012年3月期				2013年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
アリセプト計	億円	420	393	420	237	273
イースト・アジア	億円	300	304	352	183	233
日本 医療用医薬品	億円	285	290	337	171	217
アメリカス	億円 (百万米ドル)	47 (57)	26 (35)	21 (27)	20 (25)	24 (30)
EMEA	億円	68	59	44	30	12
Indo-Pacific	億円	5	4	4	4	4

*アメリカスは、米国のみがアリセプト自社販売国になります。

(3) パリエット/アシフェックス

		2012年3月期				2013年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
パリエット/アシフェックス計	億円	332	301	349	282	285
イースト・アジア	億円	155	156	188	138	138
日本 医療用医薬品	億円	148	149	181	131	131
アメリカス	億円 (百万米ドル)	158 (194)	127 (164)	144 (186)	129 (163)	132 (164)
EMEA	億円	14	13	14	11	12
Indo-Pacific	億円	4	5	3	4	4

*アメリカスは、米国のみがアシフェックスの自社販売国になります。

(4) ヒュミラ

		2012年3月期				2013年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
ヒュミラ計	億円	55	59	66	60	68
イースト・アジア	億円	55	59	66	60	68
日本 医療用医薬品	億円	46	50	57	51	58

8. 個別情報

1) 個別財務ハイライト

(1) 損益計算書項目

	第1四半期			通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
売上高	1,029	906	88.1	4,082
売上原価	227	245	108.0	947
研究開発費	313	264	84.4	1,163
販売費・一般管理費	328	281	85.7	1,303
営業利益	161	116	71.9	669
経常利益	156	107	68.7	629
四半期（当期）純利益	106	73	69.1	424

*売上原価には返品調整引当金繰入（戻入）額を含めて表示しております。

(2) キャッシュ・フロー計算書項目

	第1四半期			通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	増減額	2012年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	200	183	△17	635
投資活動によるキャッシュ・フロー	301	67	△234	47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△630	△205	426	△777
現金及び現金同等物の期末残高	101	180	78	135
フリー・キャッシュ・フロー	182	136	△46	523

*フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

(3) 貸借対照表項目

	2012年		増減額
	3月末	6月末	
総資産	9,427	9,295	△132
負債	4,141	4,164	23
社債	800	800	0
借入金	2,160	2,185	25
純資産	5,286	5,130	△155
自己資本	5,276	5,120	△155
自己資本比率（%）	56.0	55.1	△0.9

2) 売上高の状況

	第1四半期			通期
	2012年 3月期	2013年 3月期	前年同期比 %	2012年 3月期
売上高	1,029	906	88.1	4,082
医療用医薬品	822	755	91.9	3,310
一般用医薬品等	51	42	82.6	219
工業所有権等収益	68	7	10.7	184
医薬品輸出	87	99	113.6	357
その他	2	3	167.9	12

9. 主なニュースリリース

年月日	概要
2012年4月 2日	・ アジア・オセアニア・中東・東欧等における皮膚T細胞リンパ腫治療剤「Targretin」に関するライセンス契約を締結
3日	・ 子会社エーディアの大腸検査CTコロノグラフィ用炭酸ガス送気装置「プロトCO2L」について、医用機器メーカーと売買契約を締結
5日	・ 抗がん剤「ハラヴェン」、ファーマスイス社と中東欧地域における販売提携を締結
17日	・ 日本において不眠症治療薬「ルネスタ」を新発売
20日	・ アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」、経皮吸収型製剤に関するTeikoku Pharma USAとの契約の一部変更について
23日	・ ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体「ヒュミラ」、「尋常性乾癬及び関節症性乾癬」に関する承認条件（全例調査）の解除について ・ 抗がん剤「ハラヴェン」、ドイツ規制当局が局所進行性・転移性乳がんにおける追加ベネフィットを支持
2012年5月 2日	・ 米国研究子会社「H3 Biomedicine Inc.」、英国Horizon社とがん患者様遺伝子情報に基づくがん標的分子の同定とバリデーションにおける共同研究契約締結
8日	・ 関節リウマチ患者様のためのヒュミラ治療継続サポートオンラインプログラム「myHUMIRA」を開始
11日	・ 肥満症治療剤「Belviq」、米国食品医薬品局（FDA）諮問委員会が有用性を支持 ・ 肥満症治療剤「Belviq」、アリーナ社とライセンス地域拡大に関する契約を締結
15日	・ 当社の使用人に対しストックオプションとして新株予約権を発行
18日	・ エーザイのがん領域の開発品・製品に関する最新試験データを第48回米国臨床腫瘍学会年次総会で発表
22日	・ 逆流性食道炎患者様のためのモバイル用服薬サポート「逆食NAVI（ナビ）」開設
25日	・ ビタミンK ₂ シロップ剤「ケイツーシロップ0.2%」、日本で新生児・乳児ビタミンK欠乏性出血症に対する予防の効能・効果および用法・用量の追加承認を取得
28日	・ 抗てんかん剤「ソネグラン」、欧州医薬品委員会より単剤療法について承認勧告を受領 ・ AMPA受容体拮抗剤「Fycompa」、欧州医薬品委員会より抗てんかん剤として承認勧告を受領
31日	・ プロトンポンプ阻害剤「バリエット」、日本でヘリコバクター・ピロリ除菌用の3剤併用パック製剤を申請
2012年6月 21日	・ スtockオプション（新株予約権）の割当に関するお知らせ
22日	・ 末梢性神経障害性疼痛治療剤「リリカ カプセル」、日本で線維筋痛症に伴う疼痛の新効能承認を取得
27日	・ 抗てんかん剤「ソネグラン」、ロシアにおいて初めての販売承認を取得
28日	・ 肥満症治療剤「Belviq」、米国食品医薬品局（FDA）が成人の肥満症に対する処方薬として13年ぶりに新薬承認
29日	・ 抗リウマチ薬「ケアラム錠」、日本で製造販売承認を取得
2012年7月 3日	・ 抗てんかん剤「ソネグラン」、欧州医薬品庁が小児適応に関する追加申請を受理 ・ 抗てんかん剤「ソネグラン」、単剤療法について欧州医薬品庁より承認を取得
4日	・ 「チョコラBBフレッシュII」、日本で新発売
9日	・ スtockオプション（新株予約権）の発行内容等確定に関するお知らせ
10日	・ 抗がん剤「ハラヴェン」、局所進行性・転移性乳がんにおけるカベシタピンを比較対照とした第Ⅲ相臨床試験（301試験）の速報結果について
13日	・ 国際アルツハイマー病学会2012で自社創製のBACE阻害剤「E2609」に関する初の臨床試験データを口頭発表
17日	・ 新規Wntシグナル阻害剤の創出をめざしたVerastem, Inc.との共同研究契約を締結
19日	・ BACE 阻害剤「E2609」、国際アルツハイマー病学会で初めての臨床試験データを発表
24日	・ 「チョコラBBスパークリング ホワイトグレープ味」、日本で本格発売
27日	・ AMPA受容体拮抗剤「Fycompa」、欧州委員会より承認を取得
30日	・ 肥満症治療剤「Belviq」、販売承認権をアリーナ社から承継

*年月日はニュースリリース発信日を記載しております。

10. 主要開発品

<自社開発品一覧>

品目	効能効果等*	開発ステージ**	領域
承認取得品			
◎ Fycompa (部分てんかん)		(欧) 承認	神経
◎ ケアラム (関節リウマチ)		(日) 承認	血管・免疫反応
◎ ソネグラン (部分てんかん単剤療法)	効能	(欧) 承認	神経
申請中・申請準備中開発品			
Fycompa (部分てんかん)		(米) 申請	神経
E7040 (肝細胞がんに対する肝動脈塞栓療法)		(日) 申請	がん・支持療法
クレブジン (慢性B型肝炎)		(中) 申請	消化器・肝臓
cinitapride (機能性ディスペプシア)		(中) 申請	消化器・肝臓
◎ ソネグラン (部分てんかん小児適応)	効能	(欧) 申請	神経
Dacogen (急性骨髄性白血病(AML))	効能	(米) 申請	がん・支持療法
ヒュミラ (関節の構造的損傷の防止)	効能	(日) 申請	血管・免疫反応
ヒュミラ (潰瘍性大腸炎)	効能	(日) 申請	血管・免疫反応
アリセプト (ドライシロップ剤)	剤形	(日) 申請	神経
◎ バリエット (ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤併用パック製剤)	剤形	(日) 申請	消化器・肝臓
臨床試験中開発品			
Fycompa (部分てんかん)		(日中ア) PⅢ	神経
E2080 (レノックス・ガストー症候群)		(日) PⅢ	神経
E5501 (特発性血小板減少性紫斑病(ITP))		(米欧ア) PⅢ	血管・免疫反応
E5564 (重症敗血症)		(日米欧) PⅢ	血管・免疫反応
◎ E7040 (多血性腫瘍に対する血管塞栓療法)		(日) PⅢ	がん・支持療法
E7080 (甲状腺がん)		(日米欧ア) PⅢ	がん・支持療法
MORAb-003 (フラチナ感受性卵巣がん)		(日米欧ア) PⅢ	がん・支持療法
Fycompa (全般てんかん)	効能	(日米欧ア) PⅢ	神経
ハラヴェン (乳がんセカンドライン)	効能	(米欧) PⅢ	がん・支持療法
ハラヴェン (非小細胞肺がん)	効能	(日米欧ア) PⅢ	がん・支持療法
ハラヴェン (肉腫)	効能	(米欧ア) PⅢ	がん・支持療法
アリセプト (レビー小体型認知症)	効能	(日) PⅢ	神経
アリセプト (高度アルツハイマー型認知症)	効能	(中) PⅢ	神経
Inovelon/BANZEL/E2080 (レノックス・ガストー症候群の小児適応)	効能	(米欧) PⅢ	神経
アリセプト (高用量製剤<23mg錠>)	用法、剤形	(日) PⅢ	神経
E0302 (筋萎縮性側索硬化症(ALS))		(日) PⅡ/Ⅲ	神経
AS-3201 (糖尿病性神経障害)		(米欧) PⅡ/Ⅲ	神経
バリエット (低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制)	効能	(日) PⅡ/Ⅲ	消化器・肝臓
E5501 (侵襲を伴う処置・手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症)		(米) PⅡ	血管・免疫反応
E5501 (C型肝炎に対するインターフェロンを含む抗ウイルス療法を開始・実施における血小板減少症)		(米) PⅡ	血管・免疫反応
E6005 (アトピー性皮膚炎)		(日) PⅡ	血管・免疫反応
E6201 (乾癬)		(米欧) PⅡ	血管・免疫反応
E7080 (子宮内膜がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
E7080 (メラノーマ)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
E7080 (グリオーマ)		(米) PⅡ	がん・支持療法
E7080 (非小細胞肺がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
E7820 (大腸がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
◎ E7016 (メラノーマ)		(米) PⅡ	がん・支持療法
MORAb-003 (非小細胞肺がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004 (メラノーマ)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004 (大腸がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
◎ MORAb-004 (肉腫)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
MORAb-009 (中皮腫)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
Fycompa (部分てんかん小児適応)	効能	(米欧) PⅡ	神経
ハラヴェン (肉腫)	効能	(日) PⅡ	がん・支持療法
ONTAK (メラノーマ)	効能	(米) PⅡ	がん・支持療法
Dacogen (AML小児適応)	効能	(米) PⅡ	がん・支持療法
バリエット (機能性ディスペプシア)	効能	(日) PⅡ	消化器・肝臓
E7080 (肝細胞がん)		(日ア) PⅠ/Ⅱ	がん・支持療法

* 効能：効能効果追加、用法：用法用量追加、剤形：剤形追加

** 日：日本、米：米国、欧：欧州、中：中国、ア：日本・中国を除くアジア P = Phase：臨床試験段階

◎：2012年4月以降の進捗

(1) がん・支持療法

製品名：**ハラヴェン** 開発品コード：**E7389** 一般名：**エリブリン** (抗がん剤/微小管ダイナミクス阻害剤)

【概要】 クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。乳がんをはじめ、各種固形がんの効果を目指しています。米国・シンガポール・欧州・日本・スイス等、37カ国で承認を取得しています。

【効能・効果追加】乳がんセカンドライン	米欧 PⅢ	2012年度申請予定	注射剤
【効能・効果追加】非小細胞肺癌	日米欧ア PⅢ	2014年度申請予定	注射剤
【効能・効果追加】肉腫	米欧ア PⅢ 日本 PⅡ	2014年度申請予定	注射剤

開発品コード：**E7820** (抗がん剤/ α 2インテグリン発現抑制剤)

【概要】 血管内皮細胞の接着分子であるインテグリン α 2の発現抑制作用により血管新生を阻害します。

大腸がん	米欧 PⅡ		経口剤
------	-------	--	-----

開発品コード：**E7080** 一般名：**レンパチニブ** (抗がん剤/VEGF受容体チロシンキナーゼ阻害剤・マルチキナーゼ阻害剤)

【概要】 血管内皮増殖因子(VEGF)の受容体であるVEGFR2のチロシンキナーゼおよび血管新生や腫瘍増殖に関わる他の複数のキナーゼをバランスよく阻害する、血管新生・腫瘍増殖阻害剤です。各種固形がんの効果を目指しています。

甲状腺がん	日米欧ア PⅢ	2013年度申請予定	経口剤
子宮内膜がん	米欧 PⅡ		経口剤
メラノーマ	米欧 PⅡ		経口剤
グリオーマ	米国 PⅡ		経口剤
非小細胞肺癌	米欧 PⅡ		経口剤
肝細胞がん	日ア PⅠ/Ⅱ		経口剤

開発品コード：**E7016** (抗がん剤/ポリADPリボースポリメラーゼ阻害剤)

【概要】ポリADPリボースポリメラーゼ(PARP)はDNA修復に関与する酵素です。PARP阻害剤は腫瘍細胞のDNA修復を阻害することによって抗腫瘍効果をあらわし、DNAに損傷を与える化学療法や放射線療法の効果を増強することを期待しています。

◎ メラノーマ	米国 PⅡ		経口剤
---------	-------	--	-----

開発品コード：**MORAb-003** 一般名：**ファルレツスマブ** (抗がん剤/モノクローナル抗体)

【概要】 葉酸受容体 α (FRA)に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。

ブラチナ感受性卵巣がん	日米欧ア PⅢ	2012年度申請予定	注射剤
非小細胞肺癌	米欧 PⅡ		注射剤

開発品コード：**MORAb-004** (抗がん剤/モノクローナル抗体)

【概要】 Tumor endothelial marker 1(TEM-1)/エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。

メラノーマ	米欧 PⅡ		注射剤
大腸がん	米欧 PⅡ		注射剤
◎ 肉腫	米欧 PⅡ		注射剤

◎：2012年4月以降の進捗

開発品コード：MORAb-009 一般名：amatuximab (抗がん剤/モノクローナル抗体)

【概要】 メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。

中皮腫

米欧 PII

注射剤

製品名：Dacogen 開発品コード：E7373 一般名：デシタピン (DNAメチル化阻害剤)

【概要】 DNAメチル化阻害による細胞分化誘導作用を有します。すでに米国で骨髄異形成症候群(MDS)治療剤として承認を取得しています。また、米国で申請中の急性骨髄性白血病(AML)については、2012年3月に審査完了報告通知を受領し、今後の方針を検討しています。

【効能・効果追加】 急性骨髄性白血病(AML)

米国 申請(2011年5月) 受理(同年7月)

注射剤

【効能・効果追加】 急性骨髄性白血病(AML) 小児適応

米国 PII

注射剤

製品名：ONTAK 開発品コード：E7272 一般名：denileukin diftitox

(抗がん剤/インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤)

【概要】 インターロイキン2(IL-2)の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上のIL-2受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。すでに米国でCD25(IL-2受容体の構成要素)陽性の皮膚T細胞リンパ腫治療剤として承認を取得しています。

【効能・効果追加】 メラノーマ

米国 PII

注射剤

開発品コード：E7040 (血管塞栓用ビーズ/医療機器)

【概要】 ポリビニルアルコール高分子からなる親水性の球状微粒子であり、注入用カテーテルを通じて対象の血管を物理的かつ選択的に塞栓する血管塞栓用ビーズです。微細で均一な球状の粒子であるため、血管径や腫瘍の大きさ等の対象範囲に合わせて、精密な塞栓が期待できます。

肝細胞がんに対する肝動脈塞栓療法

日本 申請(2010年12月)

血管塞栓材

◎ 多血性腫瘍に対する血管塞栓療法

日本 PIII

血管塞栓材

(2) 神経

製品名：アリセプト 開発品コード：E2020 一般名：ドネペジル (アルツハイマー型認知症治療剤)

【概要】 神経伝達物質のアセチルコリンを分解する酵素であるアセチルコリンエステラーゼを阻害することにより、脳内アセチルコリン濃度を高め、アルツハイマー型認知症(AD)の認知症症状の進行を抑制します。軽度および中等度のAD治療剤として、すでに世界90カ国以上で承認されており、米国、日本、カナダ、中南米やアジアの一部の国などでは高度ADにも承認されています。

【剤形追加】 ドライシロップ剤

日本 申請(2011年12月)

経口剤

【効能・効果追加】 レビー小体型認知症

日本 PIII 2012年度申請予定

経口剤

【効能・効果追加】 高度アルツハイマー型認知症

中国 PIII

経口剤

【用法・用量、剤形追加】 高用量製剤<23mg錠>

日本 PIII

経口剤

製品名：Fycompa 開発品コード：E2007 一般名：ペランパネル (AMPA受容体拮抗剤)

【概要】 グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。神経疾患に対し様々な効果を期待しています。部分てんかんの併用療法に加え、全般てんかんの適応取得をめざした開発を進めています。また、部分てんかんの単剤療法、レノックス・ガストー症候群などの臨床試験を計画しています。

部分てんかん

◎ 欧州 承認(2012年7月)

米国 申請(2011年12月) 受理(2012年3月)

経口剤

日中ア PIII

【効能・効果追加】 全般てんかん

日米欧ア PIII

経口剤

【効能・効果追加】 部分てんかん小児適応

米欧 PII

経口剤

◎：2012年4月以降の進捗

開発品コード：**AS-3201** 一般名：**ラニレスタット**（糖尿病合併症治療剤／アルドース還元酵素阻害剤）

【概要】アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞内のソルビトール蓄積を抑制します。糖尿病の代表的な合併症である糖尿病性神経障害の治療剤として開発を進めています。

糖尿病性神経障害	米欧 PⅡ/Ⅲ	経口剤
----------	---------	-----

製品名：**ソネグラン** 開発品コード：**E2090** 一般名：**ソニサミド**（てんかん治療剤）

【概要】幅広い抗てんかんスペクトラムを有し、忍容性の高いてんかん治療剤です。すでに成人部分てんかんを対象に単剤および併用療法の適応を取得しています。

◎ 【効能・効果追加】部分てんかん単剤療法	欧州 承認（2012年6月）	経口剤
◎ 【効能・効果追加】部分てんかん小児適応	欧州 申請（2012年5月）受理（同年6月）	経口剤

開発品コード：**E0302** 一般名：**メコバラミン**（筋萎縮性側索硬化症）

【概要】メコバラミン（生体内補酵素型ビタミンB₁₂）製剤であり、傷ついた末梢神経を修復する作用があります。すでに末梢性神経障害治療剤として広く使われており、新たに、筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療剤をめざしています。

筋萎縮性側索硬化症（ALS）	日本 PⅡ/Ⅲ	注射剤
----------------	---------	-----

製品名：**Inovelon(欧)／BANZEL(米)** 開発品コード：**E2080** 一般名：**ルフィナミド**（てんかん治療剤）

【概要】新規構造のトリアゾール誘導体で、過剰電荷を帯びている脳内ナトリウムチャネルの活動を調節します。すでにレノックス・ガスター症候群の併用療法として、欧州では「Inovelon」、米国では「BANZEL」のブランド名で承認を取得しています。

レノックス・ガスター症候群の併用療法	日本 PⅢ	2012年度申請予定	経口剤
【効能・効果追加】レノックス・ガスター症候群の小児適応	米欧 PⅢ		経口剤

(3) 血管・免疫反応

製品名：**ヒュミラ** 開発品コード：**D2E7** 一般名：**アダリムマブ**（ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体）

【概要】ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体であり、自己免疫疾患の炎症反応に関わる中心的なサイトカインであるTNF α を中和します。日本では関節リウマチ、乾癬、クローン病、強直性脊椎炎に加えて若年性特発性関節炎の適応を取得しています。

【効能・効果追加】関節の構造的損傷の防止	日本 申請（2011年9月）	注射剤
【効能・効果追加】潰瘍性大腸炎	日本 申請（2012年3月）	注射剤

開発品コード：**E5564** 一般名：**エリトラン**（重症敗血症治療剤／エンドトキシン拮抗剤）

【概要】エンドトキシン拮抗作用により、炎症性サイトカインの遊離を阻害し、エンドトキシンによって引き起こされる臨床症状の発現を抑制します。

重症敗血症	日米欧 PⅢ	注射剤
-------	--------	-----

開発品コード：**E5501／AKR-501** 一般名：**avatrombopag**

（血小板減少症治療剤／トロンボポエチン受容体作動剤）

【概要】トロンボポエチン受容体のアゴニストで、血小板増加を促進させる経口の新規化合物です。血小板減少を示す病状への効果を期待しています。

特発性血小板減少性紫斑病（ITP）	米欧ア PⅢ	2013年度申請予定	経口剤
侵襲を伴う処置・手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症	米国 PⅡ		経口剤
C型肝炎に対するインターフェロンを含む抗ウイルス療法を開始・実施における血小板減少症	米国 PⅡ		経口剤

◎：2012年4月以降の進捗

開発品コード：**E6201**（新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤）

【概要】新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤です。乾癬において、炎症性の細胞内シグナル伝達の抑制や皮膚の上皮細胞の異常増殖を抑制することによる効果を期待しています。

乾癬

米欧 PII

外用剤

開発品コード：**E6005**（ホスホジエステラーゼ4阻害剤）

【概要】細胞内情報伝達物質サイクリックAMPの分解酵素であるホスホジエステラーゼ4の働きを阻害します。アトピー性疾患の諸症状を抑える治療薬となることを期待しています。

アトピー性皮膚炎

日本 PII

外用剤

製品名：**ケアラム** 開発品コード：**T-614** 一般名：**イグラチモド**（関節リウマチ治療剤）

【概要】炎症性のサイトカインおよび免疫グロブリン産生を抑制し、関節リウマチへの効果を示します。日本において、関節リウマチの効能効果で承認を取得しました。現在日本で承認されている経口抗リウマチ薬の中で、本剤は初めて国内の治験で標準治療薬であるメトトレキサート（MTX）効果不十分の患者様に対して、MTXへの上乗せ使用時の有効性を示しました。

◎ 関節リウマチ

日本 承認（2012年6月）

経口剤

（4）消化器・肝臓

製品名：**パリエット/アシフェックス** 開発品コード：**E3810** 一般名：**ラベプラゾール**（プロトンポンプ阻害剤）

【概要】プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌などの承認を取得しています。

◎ 【剤形追加】ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤併用バック製剤 日本 申請（2012年5月） 経口剤

【効能・効果追加】低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 日本 PII/III 経口剤

【効能・効果追加】機能性ディスペプシア 日本 PII 経口剤

一般名：**クレブジン**（慢性B型肝炎治療剤）

【概要】DNAポリメラーゼ阻害による抗ウイルス作用に基づく慢性B型肝炎治療剤です。

慢性B型肝炎

中国 申請（2010年10月）

経口剤

一般名：**cinitapride**（上部消化管機能改善剤）

【概要】消化管神経叢に存在する5-HT₂および5-HT₄受容体を刺激することによりアセチルコリンの遊離を増大させ、上部消化管運動を改善します。また抗ドーパミン作用も有し、ドーパミン受容体を阻害することによりアセチルコリンの放出抑制を解除し上部消化管機能を改善します。

機能性ディスペプシア

中国 申請（2011年10月）

経口剤